

作品の手引き

『演劇的或いは詩的な考察』 2020

取り巻く世界は瞬く間に様相を変え、新しい秩序が生まれようとしていた。
他人との物理的距離に神経過敏になる中、「ディスタンス」という隔たりに意識を向け、
演劇的、心理的、詩的に考察する。

『notes』 2021

日々の制作と本展「幕間 Entr' Acte」に向けたノート。
文章にも満たない言葉や単語の羅列が脈略もなく明滅する。
それらは、いつの日かのための何物かになっていく。

『抽象化する現実』 2021

白昼夢のような現実の一コマに直接ペイントし、抽象化させていく。
単純な線と抽象的な構成に置き換えていくことで、
存在の複雑性と単純性の揺らぎを探る。

『サマーレイン』 2021

「ソーダ水の雨が降る。 レモンとライム、時々ミント」
初夏の爽やかな風と匂い。
リアリティとイメージの狭間。

『Room - イメージと思索の小部屋』

何ものかになるまでのイメージや筆記のプロセスの部屋。